

**製品名: USP2 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM86071**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間、アフリカングリーンマウスオンキー
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	68.7kDa

## 抗原情報

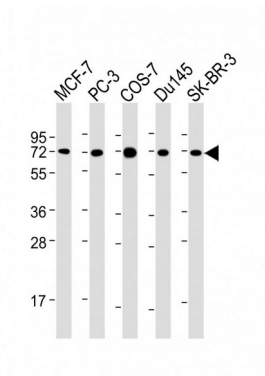
遺伝子名	USP2 Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase 2, 3.4.19.12, 41 kDa ubiquitin-specific protease,
別名	Deubiquitinating enzyme 2, Ubiquitin thioesterase 2, Ubiquitin-specific-processing protease 2, USP2, UBP41
遺伝子 ID	9099.0
SwissProt ID	O75604
免疫原	この USP2 抗体は、ヒト USP2 の 1 ~ 258 個のアミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

## 背景

MDM2、MDM4、CCND1などのポリユビキチン化された標的タンパク質を脱ユビキチン化する加水分解酵素。アイソフォーム 1とアイソフォーム 4は、ユビキチン特異的ペプチダーゼ活性とイソペプチダーゼ活性の両方を有する。MDM2を脱ユビキチン化するが、MDM2を介したp53/TP53のユビキチン化は逆転しないため、間接的にp53/TP53の分解を促進し、p53の活性を制限します。p53/TP53に対する脱ユビキチン化活性はありません。MDM2を介したMDM4の分解を阻害します。正常細胞と癌細胞におけるG1/S細胞周期の進行に役割を果たします。胎児の筋細胞の筋原分化の調節に役割を果たします。内因性の概日リズムと外部からの刺激に対する応答能力を調整することで、概日時計を制御します。時計タンパク質と会合し、コア時計構成要素であるPER1を脱ユビキチン化するが、その全体的な安定性には影響を与えない。PER1の核質輸送と核内滞留を制御し、時計転写因子CLOCKおよびARNTL/BMAL1に対する抑制的役割を担う（類似性に基づく）。

## 研究分野

## 画像データ



全レーン：抗 USP2 抗体 (1:2000 希釈)